

北杜市 市民意識調査 報告書【概要版】

1. 調査の目的

令和3年度に策定した第3次北杜市総合計画の着実な推進を図るため、市民の暮らしの満足度等や、市の環境や状況に対する評価や活動状況等を調査し、課題の把握・分析を行った。その中には、第3次北杜市総合計画で設定した「市民意識指標」も含まれ、基準値の収集を行っている。

調査結果は、今後の施策立案に反映するとともに総合計画の進捗管理や評価・検証に活用するものとする。

■分析内容

- ① 第3次北杜市総合計画で設定した市民意識指標の基準値
- ② 生きがいや幸せ、住みやすさ等の分析
- ③ 北杜市に住み続けたい意向の分析
- ④ 子育て・教育に関する分析
- ⑤ 市民の日常生活における取組み・活動の現状分析
 - ・「第3次総合計画」の5つの政策分野に関連する市民の活動や取組みに関する分析結果。
- ⑥ 市の環境や状況の現状評価
 - ・「第3次総合計画」の5つの政策分野ごとの市の環境や状況等に対する現状の評価結果。

2. 調査実施概要

実施概要は、以下のとおりです。

調査対象者	満15歳以上の市民
配布数	3,000件
抽出方法	住民基本台帳からの無作為抽出
配布方法	郵送 ※調査依頼にあたっては、調査の趣旨や総合計画についての理解を深めてもらうため、総合計画のダイジェスト版を同封した。
回答方法	郵送で調査票等を配布し、回答は「紙の調査票」又は「インターネット」を選択可能とした。
調査期間	令和4年7月30日～8月22日
回答数	1,585件(郵送:1,221件 インターネット回答:364件)うち、白票1件
有効回答数	1,584件
有効回答率	52.8%

回答者の年代

	回答者数(人)	割合(%)
10歳代	63	4.0
20歳代	72	4.6
30歳代	126	8.0
40歳代	212	13.4
50歳代	245	15.5
60歳代	393	24.8
70歳代以上	471	29.8
合計	1,582	100.0

3. 調査の結果

① 第3次北杜市総合計画で設定した市民意識指標の基準値

第3次北杜市総合計画では、リーディングプロジェクトに9本、部門別計画5-3に1本の計10本の市民意識指標を設定している。本調査では、この10本の指標の基準値の把握を行った。以降のページでは、市民意識指標である結果には **指標** を示す。

リーディングプロジェクト	指標No	指標名（計画書）	具体的な調査項目と基準値の算出方法		基準値
LP1-1 子育て・教育で選ばれる地域をつくる	LP-01	「子育て施策の充実」の満足度	「 子育て支援策が充実している 」に「そう思う」「ややそう思う」と回答した割合	回答者全体	33.7%
				高校生以下の子どもの保護者	63.4%
	LP-02	「教育施策の充実」の満足度	「 小中学校の教育が充実している 」に「そう思う」「ややそう思う」と回答した割合	回答者全体	28.0%
				小中学生の子どもの保護者	52.8%
LP1-2 若い世代に選ばれる地域をつくる	LP-04	若い世代の北杜市に住みたいと回答した割合	「 あなたはこれからも北杜市に住みたいと思いますか 」の間における15-49歳の「ずっと住みたい」「当分は住んでいたい」と回答した割合		67.0%
LP2-1 健康を支え、生命を守る体制をつくる	LP-06	生きがい、幸せを感じながら生活している市民の割合	「 暮らしの中で生きがいや幸せを感じているか 」に「そう思う」「ややそう思う」と回答した割合		81.6%
LP2-2 協働・支え合いのまちをつくる	LP-07	地域での支え合いが行われていると感じる市民の割合	「 地域住民による支え合いが行われている 」に「そう思う」「ややそう思う」と回答した割合		44.6%
	LP-08	多様な価値観や生活様式の共生に関する市民の認識	「 多様な価値観や生活様式など、違いを認め合い、個性を大切にしている 」に「当てはまる」「やや当てはまる」と回答した割合		78.0%
LP4-2 北杜のファンをつくり、ともにチャレンジする	LP-16	北杜市を他地域に誇れると感じる市民の割合	「 北杜市は他地域に誇れるまちである 」に「そう思う」「ややそう思う」と回答した割合		71.2%
LP5-1 強靱な地域をつくる	LP-18	行政の災害等の危機管理体制の満足度	「 災害時の行政の危機管理体制が整っている 」に「そう思う」「ややそう思う」と回答した割合		29.1%
LP5-2 SDGs未来都市をつくる	LP-20	市の自然や環境保全の満足度	「 山岳を中心とする豊かな自然とその景観が守られている 」に「そう思う」「ややそう思う」と回答した割合		58.2%
部門別計画	No	指標	調査項目		基準値
5 環境・都市基盤 5-3自然と暮らしが共存するまちづくりの推進	40	市の景観が守られていると感じる市民の割合	「 自然保護や環境保全の取り組みが充実している 」に「そう思う」「ややそう思う」と回答した割合		31.9%

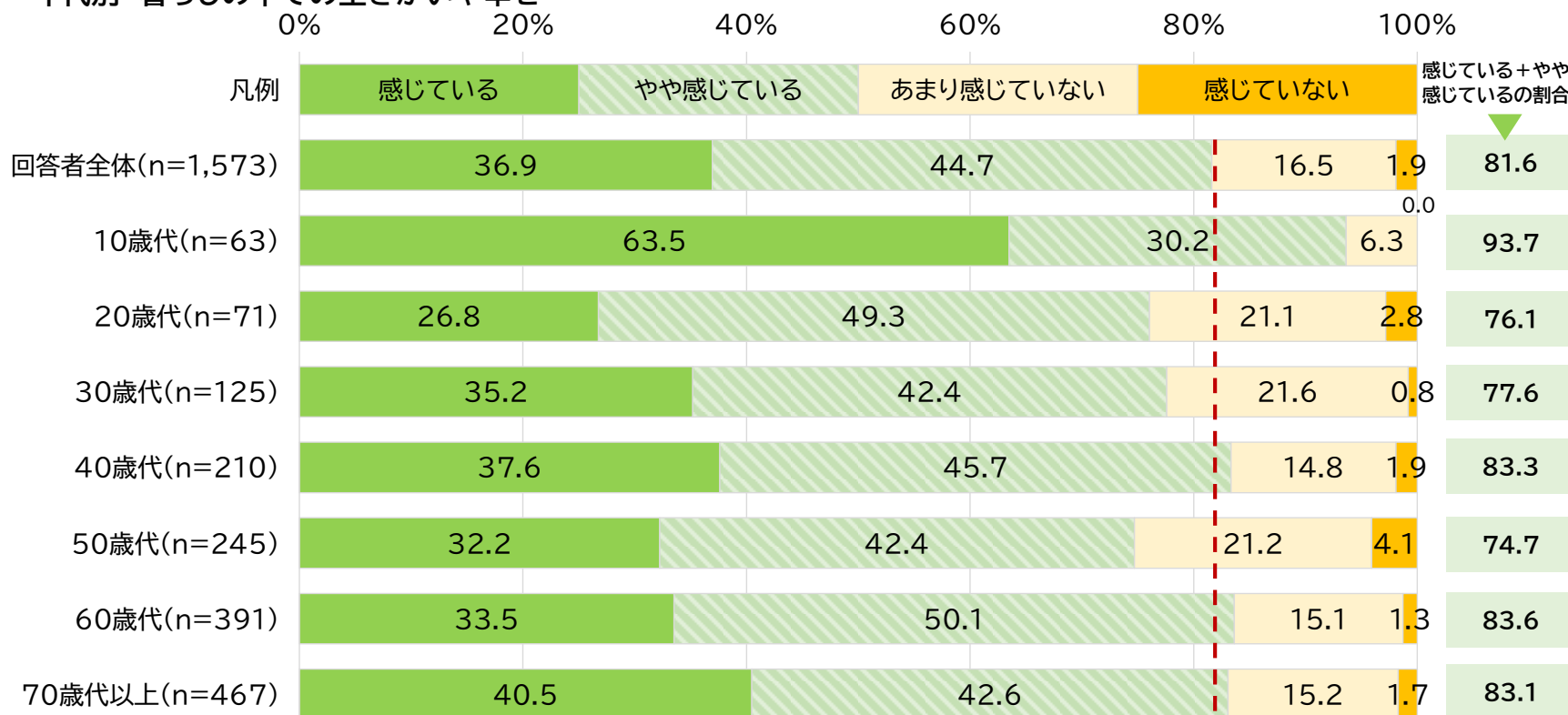
② 生きがいや幸せ、住みやすさ等の分析

(1)暮らしの中で生きがいや幸せを感じているか

指標【LP-06】

- 回答者全体の生きがいや幸せを感じてる割合(「感じている」「やや感じている」の計)は81.6%。
- 年代別にみると、10歳代で生きがいや幸せを感じている割合が93.7%と高いが、20歳代・30歳代、50歳代は70%台と下がる。40歳代及び60歳以上は80%台となっている。

年代別 暮らしの中での生きがいや幸せ

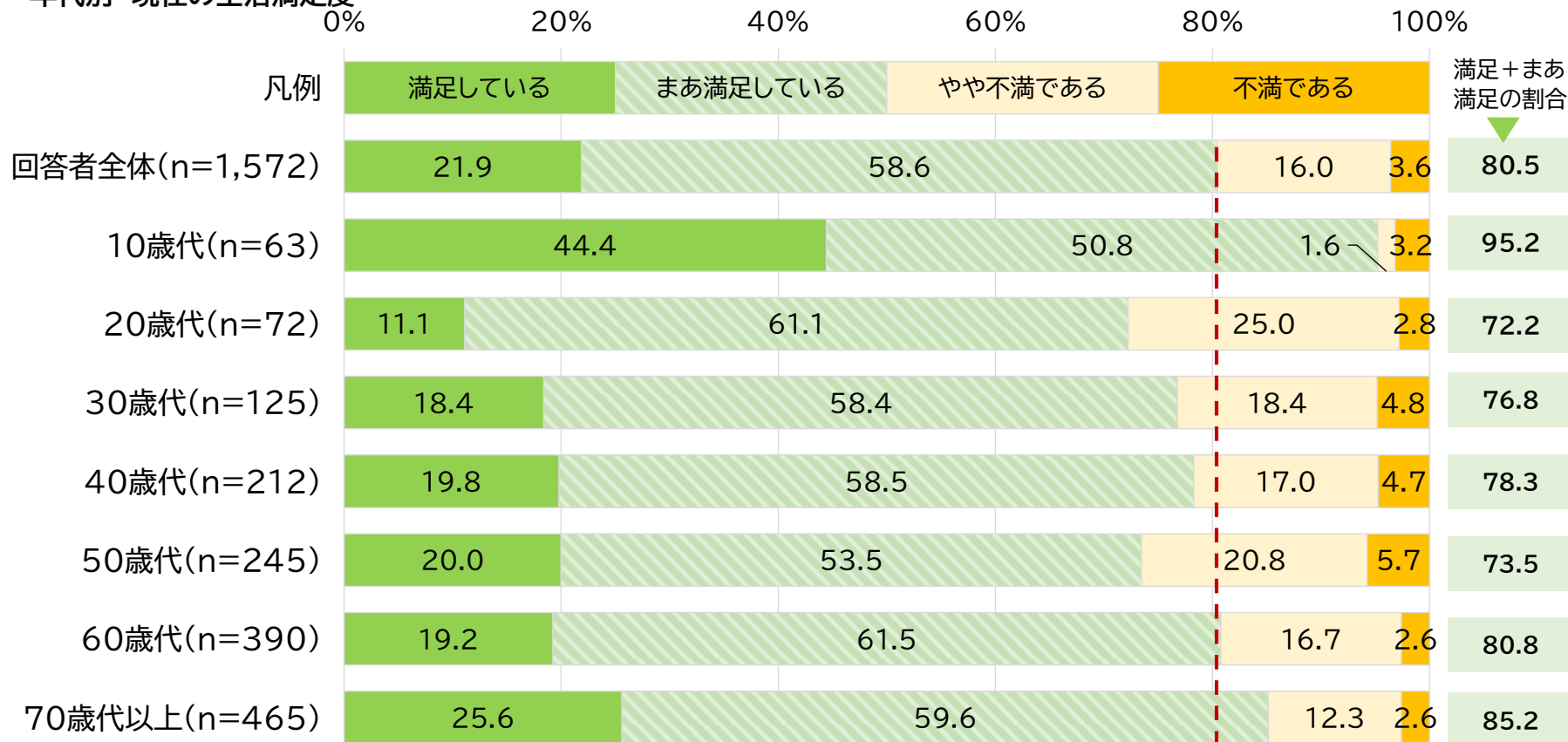


▲回答者全体の「感じている」「やや感じている」を合わせた割合

(2)現在の生活にどの程度、満足しているか

- 回答者全体の生活満足度(「満足している」「まあ満足している」の計)は80.5%。
- 年代別にみると、10歳代の割合が95.2%と高いが、20歳代～50歳代は70%台である。60歳以上は80%台となっている。

年代別 現在の生活満足度

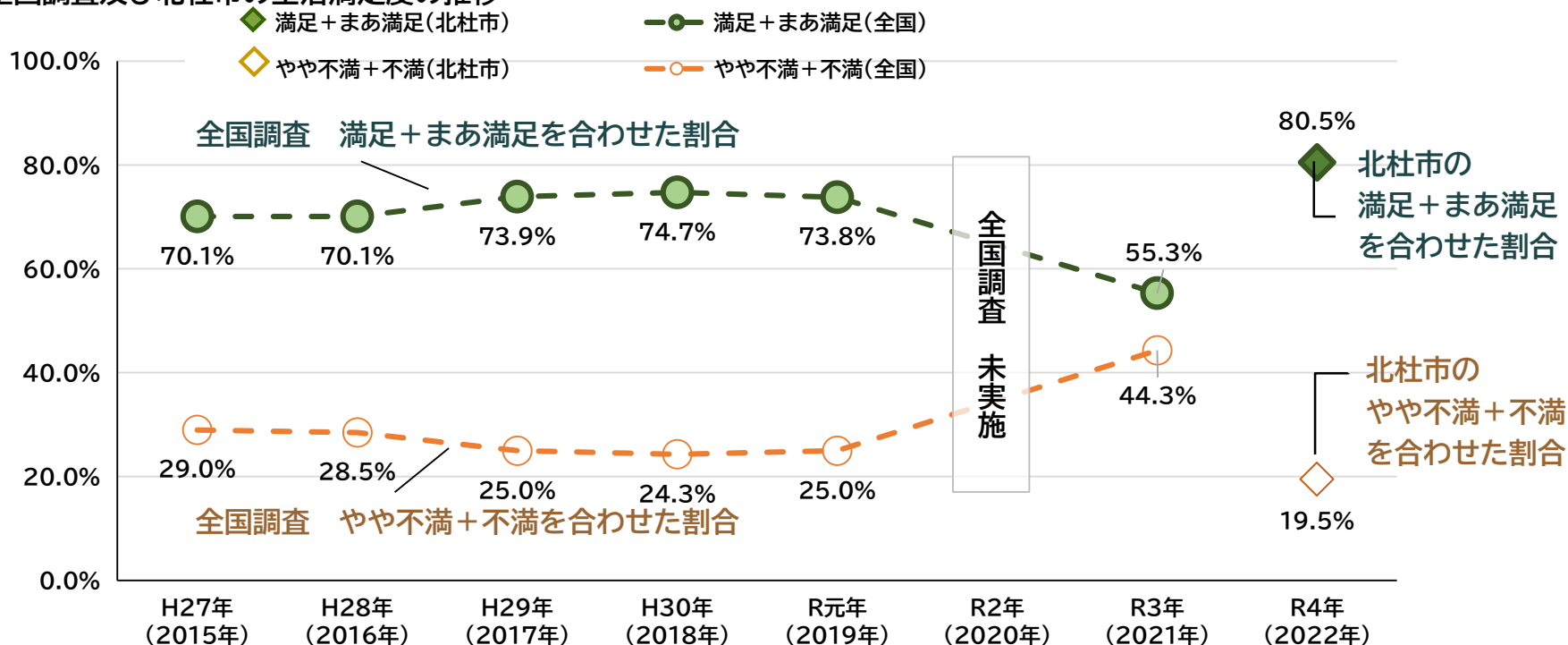


▲回答者全体の「満足している」「まあ満足している」を合わせた割合

(3) 全国の生活満足度との比較

- 生活満足度については、内閣府「国民生活に関する世論調査」(以下、「全国調査」という。)において同様の項目が設定されている。グラフは、全国調査の生活満足度の推移と本市の今回の調査結果を示したものである。
- 全国調査では、平成27年～令和元年度まで70%台を推移していたが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大などの社会情勢の影響を受け、大きく低下している。本市の生活満足度は80.5%であり、全国調査の新型コロナウイルス感染症拡大前の水準を上回っている。

全国調査及び北杜市の生活満足度の推移



出典:内閣府「国民生活に関する世論調査」

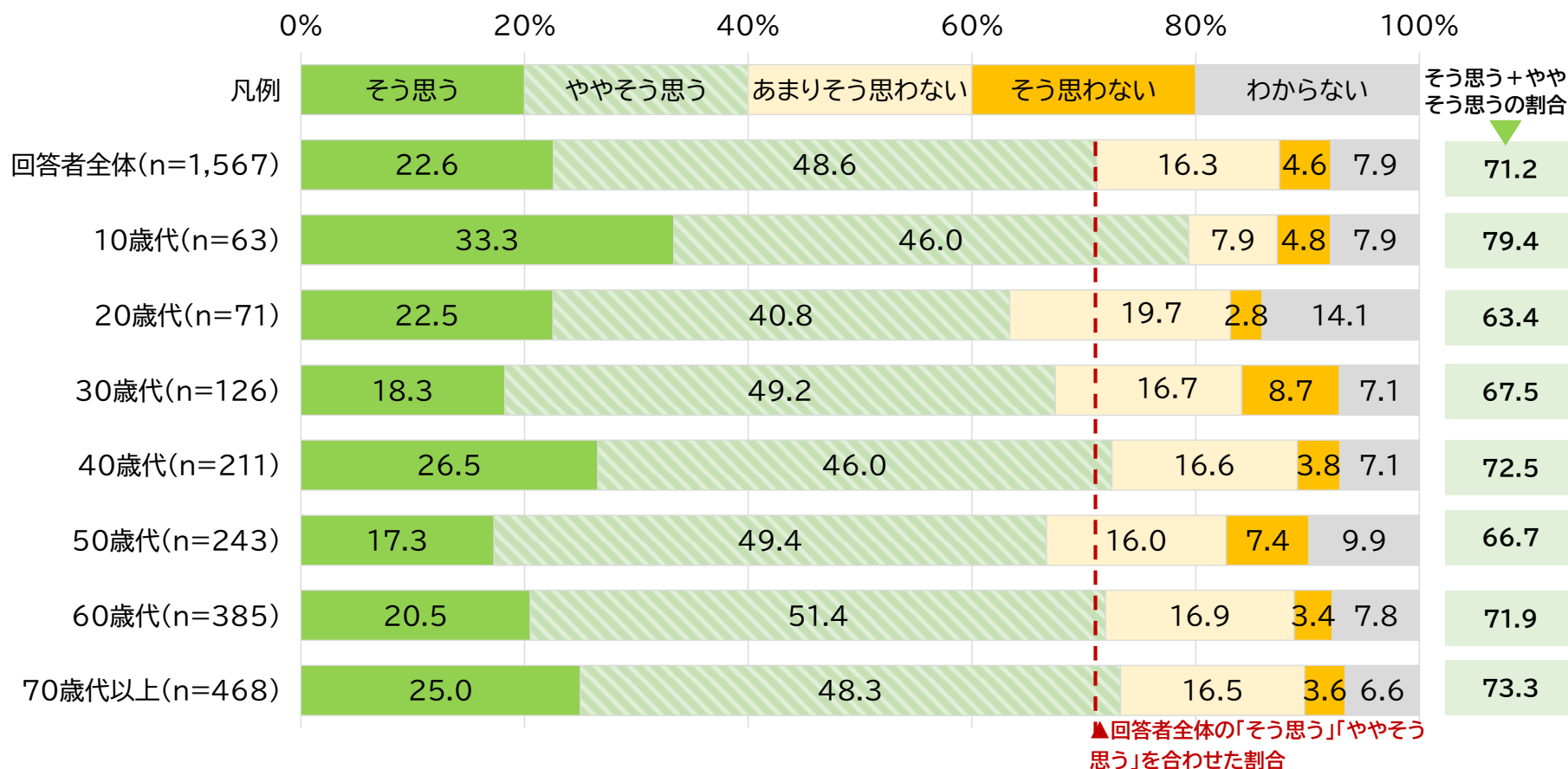
※全国調査の公表データの最新値は令和3年

(5)北杜市は他の地域の人たちに誇れるまちであるか

指標【LP-16】

- 回答者全体で、北杜市が誇れるまちであると思う割合(「そう思う」「ややそう思う」の計)は71.2%。
- 10歳代の割合が79.4%と高いが、20歳代、30歳代及び50歳代は60%台に下がる。40歳代及び60歳以上から70%台と高くなっている。20歳代は「わからない」という割合が高い。

年代別 北杜市は他の地域の人たちに誇れるまちであるか



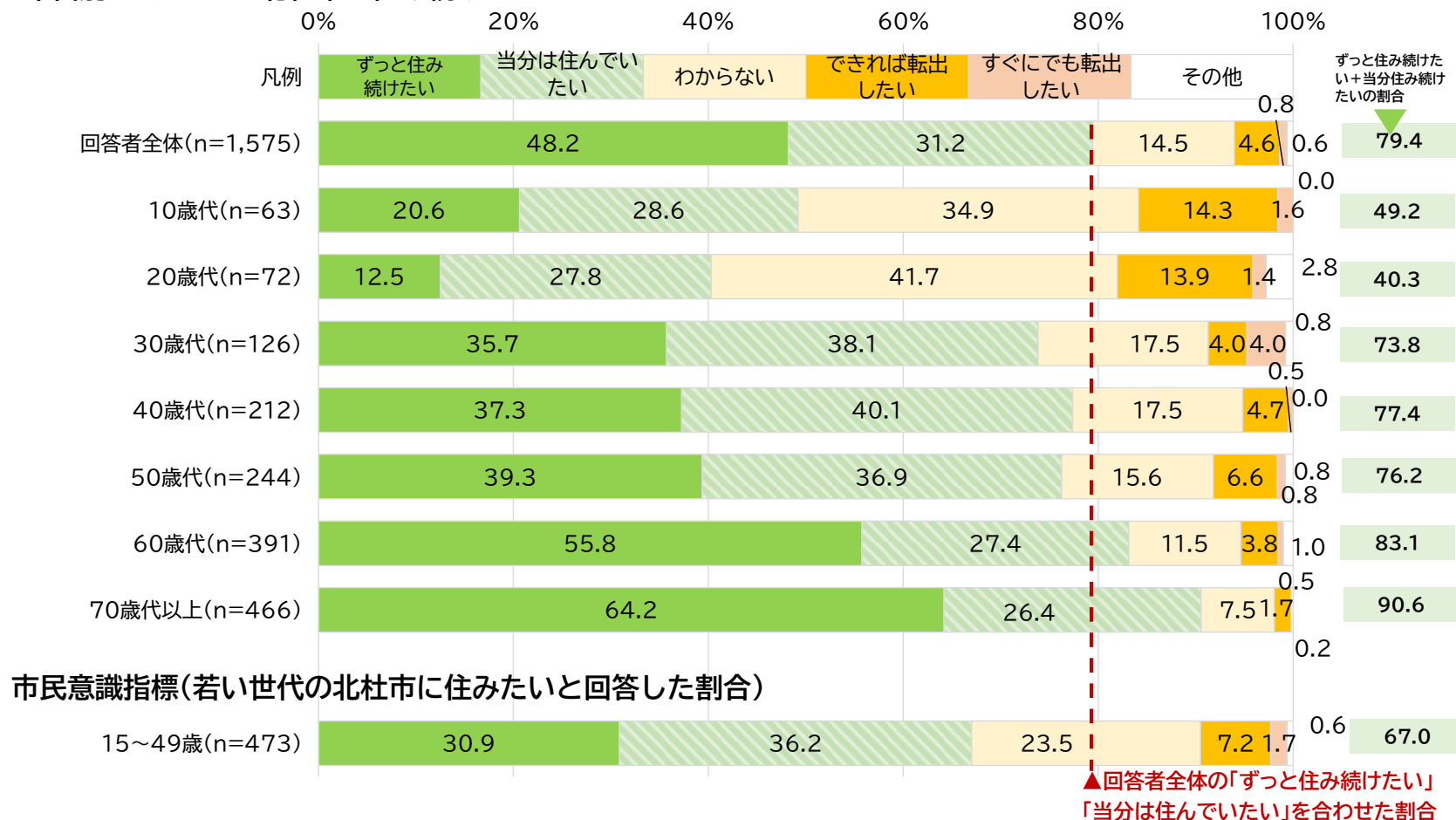
③ 北杜市に住み続けたい意向の分析

(1) これからも北杜市に住み続けたいか

指標【LP-04】

- 回答者全体での住み続けたい割合(「ずっと住み続けたい」「当分は住んでいたい」の計)は79.4%。
- 年代別にみると、10歳代、20歳代で「わからない」という割合が3～4割を占め、住み続けたい割合は40%台に留まる。30歳代からは70%台となり、概ね年代が上がるにつれて高くなっている。

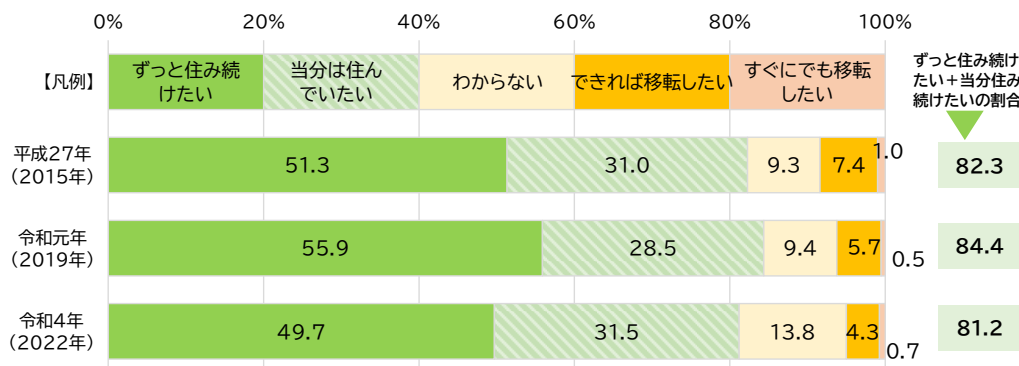
年代別 これからも北杜市に住み続けたいか



(2)これからも北杜市に住み続けたいかの経年比較

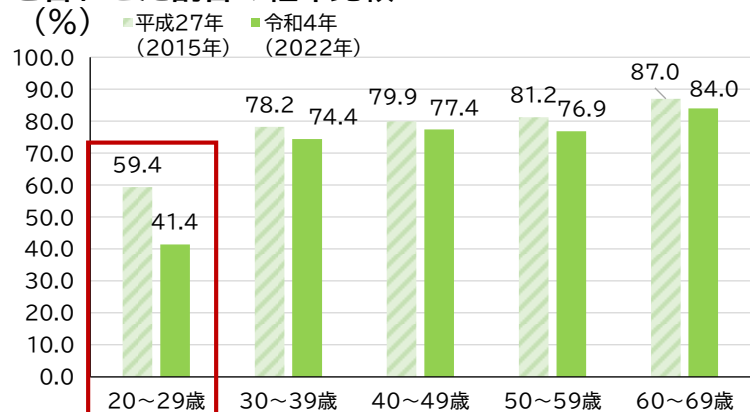
- 「ずっと住み続けたい」「当分は住んでいたい」を合わせた割合について経年で見ると、80%台を維持しており、横ばいで推移している。
- しかし、年代別にみると、20歳代で低下傾向にある。20歳代は、「わからない」という回答割合が増加している。本市に住み続けることを決めかねている層が増えており、定住を促進する取組みが必要である。

北杜市の 定住意向の経年比較



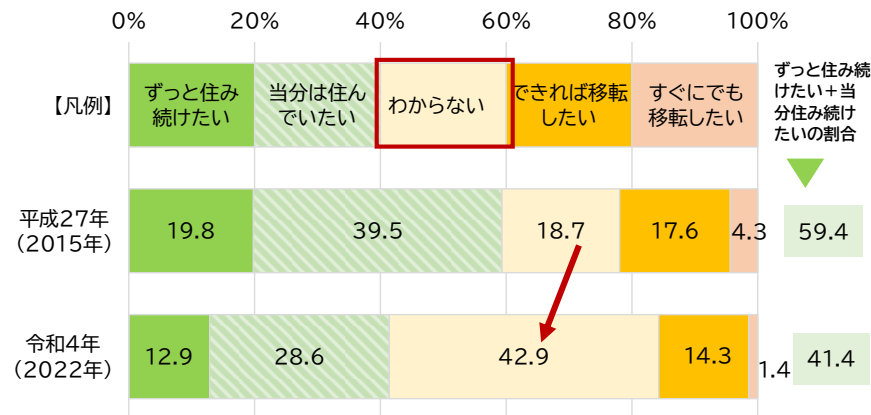
※過去調査の対象者は20歳以上であり、令和4年度調査も20歳以上に対象をしばり算出している。また「その他」は令和4年度調査のみであり除いている。

年代別「ずっと住み続けたい」「当分住み続けたい」を合わせた割合の経年比較



20歳代の分布

20歳代の定住意向の経年比較



(3)北杜市に住みたいかわからない、転出したいと思う理由

【対象:これからも北杜市に住み続けたいかという設問に「わからない」「できれば転出したい」「すぐにでも転出したい」と回答した者の理由】

年代別

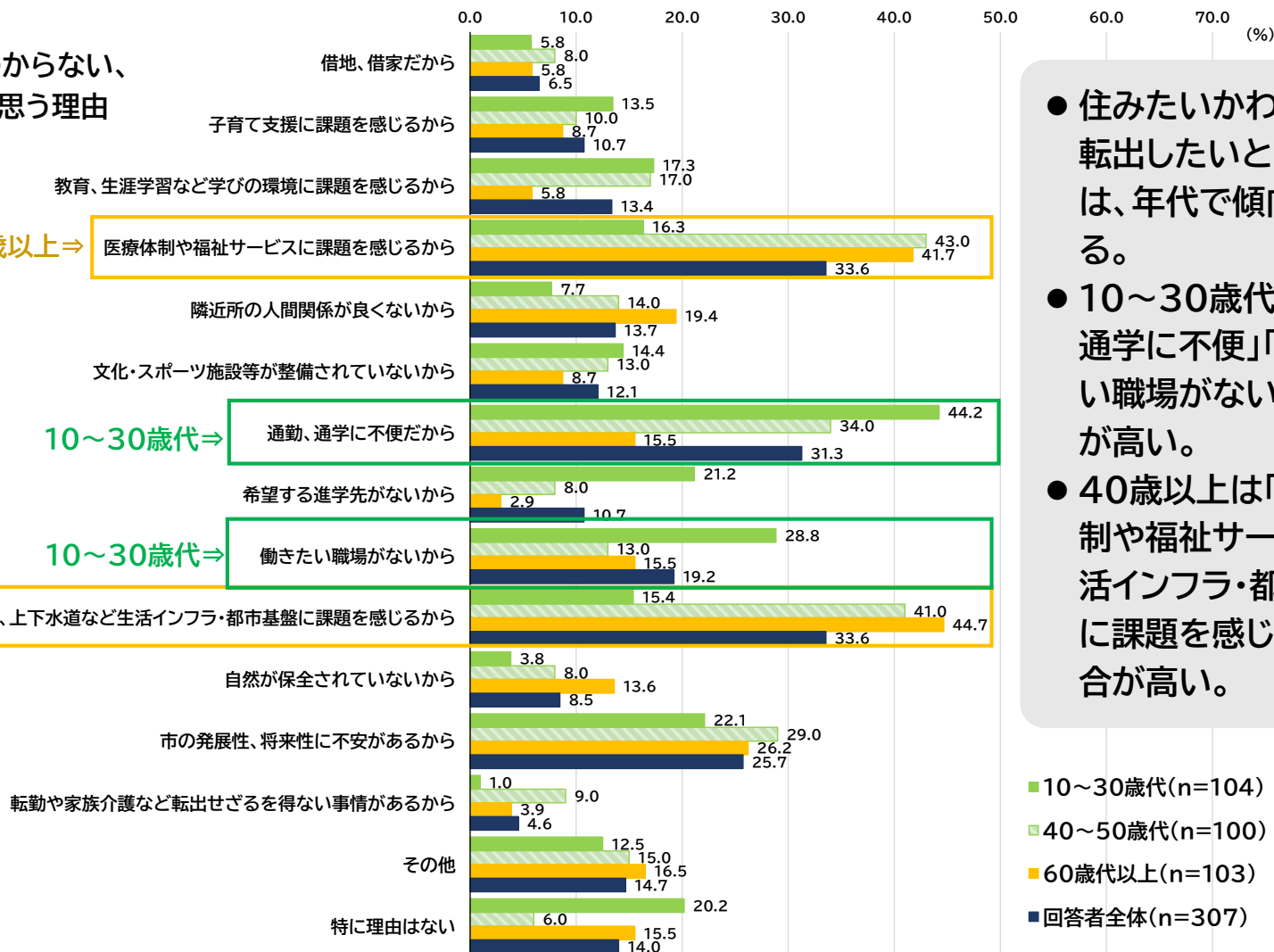
住みたいかわからない、
転出したいと思う理由
(複数回答)

40歳以上⇒

10～30歳代⇒

10～30歳代⇒

40歳
以上⇒



- 住みたいかわからない、転出したいと思う理由は、年代で傾向が異なる。
- 10～30歳代は「通勤、通学に不便」「働きたい職場がない」の割合が高い。
- 40歳以上は「医療体制や福祉サービス」「生活インフラ・都市基盤」に課題を感じている割合が高い。

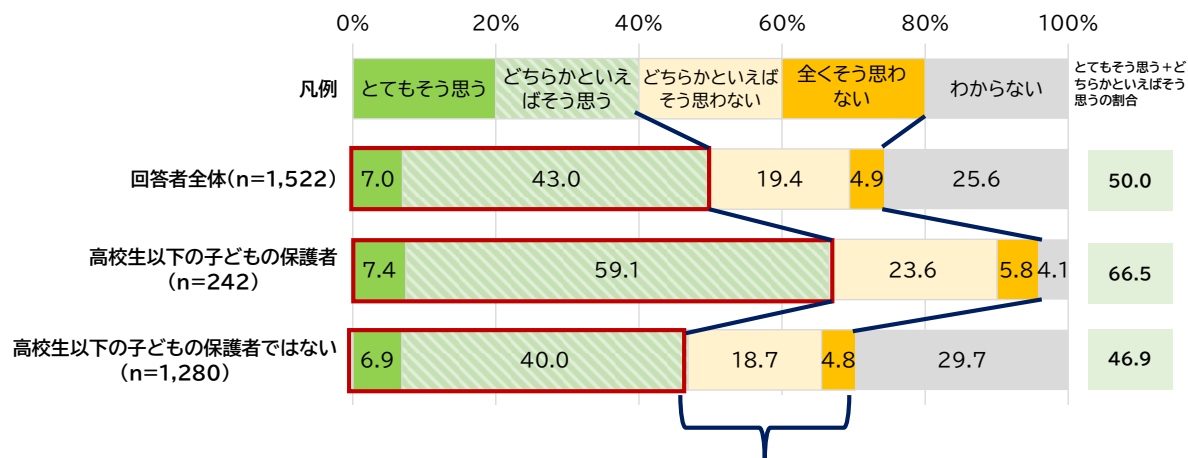
■ 10～30歳代(n=104)
■ 40～50歳代(n=100)
■ 60歳代以上(n=103)
■ 回答者全体(n=307)

④ 子育て・教育に関する分析

(1)子どもを生み育てやすい地域であるか

高校生以下の子どもの保護者別
子どもを生み育てやすい地域であるか

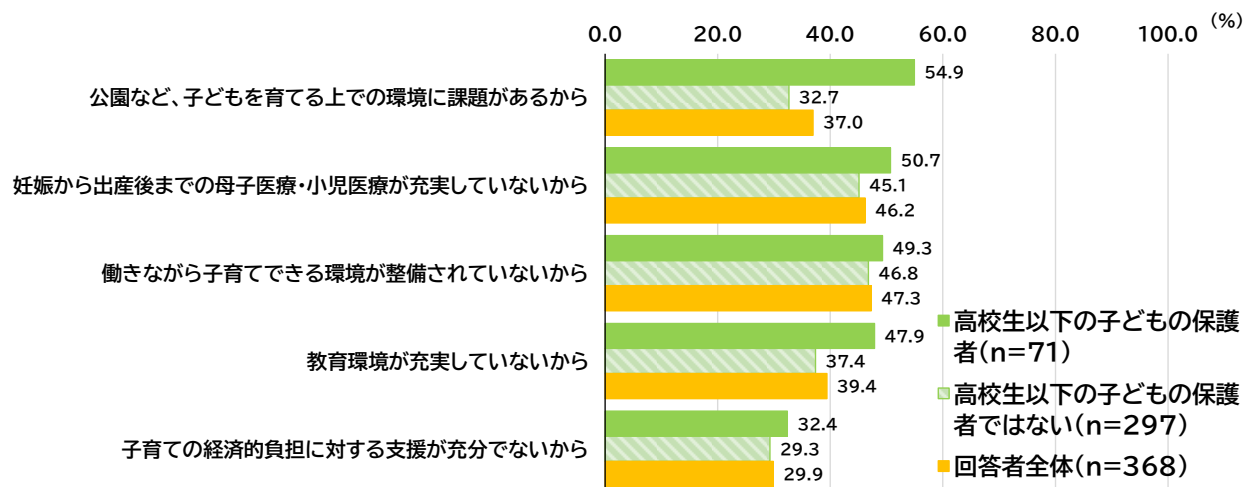
- 高校生以下の子どもの保護者における(「とてもそう思う」「どちらかといえばそう思う」の計) 66.5%。



「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」と回答した者の理由

高校生以下の子どもの保護者別
子どもを生み育てやすい地域であると思わない理由上位5つ
(複数回答)

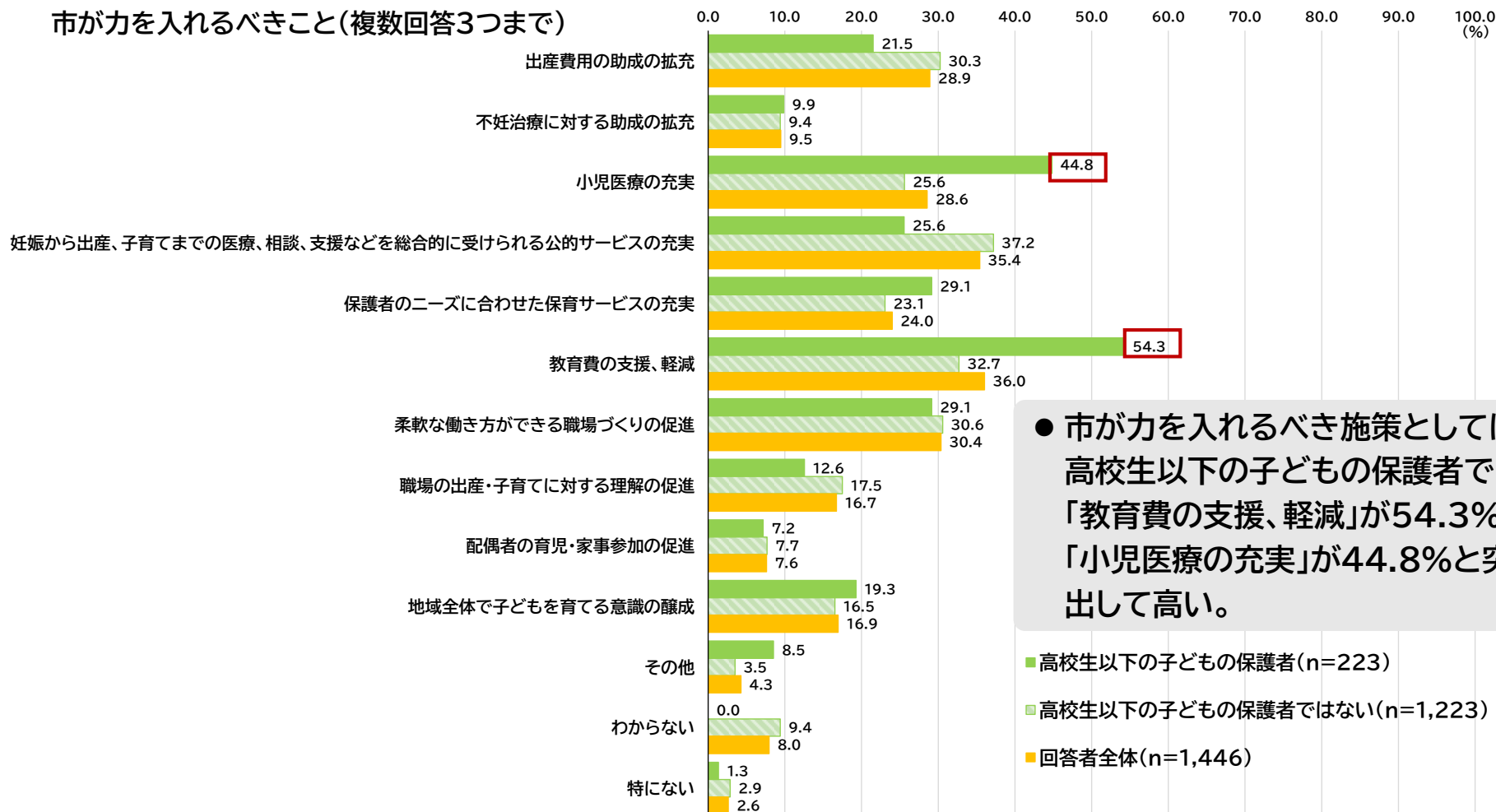
- 高校生以下の子どもの保護者では「公園など、子どもを育てる上での環境」、「妊娠から出産後までの母子医療・小児医療」、「働きながら子育てできる環境」、「教育環境」の割合が高く、課題としてあげている。



(2)妊娠・出産・子育ての身体的・精神的・経済的負担を軽減し、より子育てしやすい地域とするために市が特に力を入れるべきこと

高校生以下の子どもの保護者別

市が力を入れるべきこと(複数回答3つまで)



⑤市民の日常生活における取組み・活動の現状分析

第3次総合計画で掲げた政策分野ごとに、住みやすい地域にするために、住民に期待したい取組みや活動を整理し、実践の状況の把握を行った。

- 「19. 分別や資源化など、ごみの減量を～」に取り組んでいる割合が最も高い。
- 次いで「7. 多様な価値観や生活様式など、違いを認め合い～」が高い。この項目は、家庭・学校・職場・地域等で生活をしていく上で遵守されなければならない原則であり、取り組んでいない者が2割を占めていることを課題と捉え、働きかけが必要といえる。
- また、自然環境保全等では、「20. 自然環境を守る活動～」 「8. 節電や自動車利用を控えるなど～」の割合が低く、豊かな自然環境の維持に向け、市民の協力の重要性も伝えていく必要があるといえる。

分野	設問	n	当てはまる	やや当てはまる	あまり当てはまらない	当てはまらない	合計	あてはまる、ややあてはまるの割合
分野1 子育て・教育・若者	1 子育て中の家庭を気にかけているようにしている	1,452	15.2	36.6	24.3	23.8	100.0	51.9
分野2 健康・福祉	2 ご近所の高齢者を見守り、気にかけているようにしている	1,472	17.5	48.8	22.8	10.8	100.0	66.4
	3 移住者が地域に溶け込めるよう気にかけている	1,466	14.1	40.7	29.9	15.3	100.0	54.8
	4 健康づくりに継続的に取り組んでいる	1,472	21.7	42.0	26.4	10.0	100.0	63.7
	5 ストレスや不安を一人で抱え込まないようにしている	1,474	24.1	48.4	19.2	8.3	100.0	72.5
	6 地域のひとと積極的に関わりを持っている 指標【LP-08】	1,471	18.7	39.6	30.1	11.6	100.0	58.3
分野3 市民生活・文化	7 多様な価値観や生活様式など、違いを認め合い、個性を大切にしている	1,471	27.4	50.6	16.9	5.1	100.0	78.0
	8 市政や地域づくり活動に関心を持っている	1,470	12.9	41.2	33.9	11.9	100.0	54.1
	9 自治会などの活動や地域づくり活動に参加している	1,475	20.1	33.1	24.8	22.0	100.0	53.2
	10 様々なことに関心を持ち、学んでいる	1,470	15.0	39.5	33.8	11.7	100.0	54.5
	11 スポーツに親しんでいる(取り組んだり、観戦することを含む)	1,474	15.1	30.7	32.9	21.3	100.0	45.8
	12 音楽や文化・芸術にふれている(取り組んだり、鑑賞したりすることを含む)	1,472	17.4	36.7	31.2	14.7	100.0	54.1
	13 地域のお祭りや伝統文化の継承等の活動に参加している	1,472	11.2	27.9	33.9	27.0	100.0	39.1
分野4 産業経済・観光	14 地元産の農畜産物を積極的に購入している	1,471	28.8	42.6	20.5	8.2	100.0	71.4
	15 市内観光地を自ら楽しんだり、友人・知人にすすめている	1,473	19.6	37.6	29.7	13.0	100.0	57.2
	16 地元のお店で買物をするようにしている	1,476	29.1	41.7	20.8	8.5	100.0	70.7
分野5 環境・都市基盤	17 災害への備えをしている	1,475	14.0	46.2	32.2	7.5	100.0	60.3
	18 節電や自動車利用を控えるなど、二酸化炭素(CO2)の発生を抑える暮らしをしている	1,479	12.4	36.4	35.6	15.6	100.0	48.9
	19 分別や資源化など、ごみの減量を行っている	1,478	39.3	46.6	10.8	3.2	100.0	85.9
	20 自然環境を守る活動に参加している	1,473	10.1	23.0	38.9	28.0	100.0	33.1
	21 家のまわりの緑化や美化など、美しい景観づくりに取り組んでいる	1,475	26.8	46.4	18.5	8.3	100.0	73.2

⑥市の環境や状況の現状評価分析

(1)市の環境や状況の評価

基本計画で掲げた5つの分野ごとに下表の項目を設け、市の環境や状況等について評価を行った。下表は各項目の回答分布を示したものである。

※「そう思う」「ややそう思う」を合わせた割合が50%以上、「わからない」の割合が全項目の平均である24.3%以上の項目が赤色。

分野	設問	n	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	わからない	合計	そう思う、やや そう思うの割合	わからないの 割合
分野1 子育て・教育・若者	1 子どもを生み育てやすい地域である	1,522	7.0	43.0	19.4	4.9	25.6	100.0	50.0	25.6
	2 子育て支援が充実している 指標【LP-01】	1,500	7.0	26.7	16.8	4.8	44.7	100.0	33.7	44.7
	3 出産支援や乳幼児の保健事業が充実している	1,493	5.6	21.6	16.1	5.4	51.4	100.0	27.1	51.4
	4 保護者の多様なニーズに応じた保育サービスが提供されている	1,492	3.8	18.4	20.8	7.4	49.7	100.0	22.2	49.7
	5 小中学校の教育が充実している 指標【LP-02】	1,498	6.6	21.4	17.8	7.4	46.8	100.0	28.0	46.8
	6 小中学校教育において、児童・生徒に必要な学力・体力を身につけている	1,499	4.6	20.4	19.6	6.6	48.8	100.0	25.0	48.8
	7 小中学校教育において、夢を持ち未来を切り拓く力が育まれている	1,500	3.8	17.0	20.9	7.5	50.7	100.0	20.8	50.7
	8 地域住民と学校が連携し、子どもの学びや育ちを支えている	1,497	6.3	24.2	19.0	8.4	42.0	100.0	30.6	42.0
	9 子育て世代・若者が移住・定住したくなるような地域である	1,497	5.0	24.1	26.3	12.6	32.0	100.0	29.1	32.0
分野2 健康・福祉	10 健康づくりに取り組みやすい環境が整っている	1,499	8.0	35.1	29.5	11.7	15.7	100.0	43.1	15.7
	11 安心できる医療体制が確保されている	1,519	6.5	30.4	34.0	18.0	11.1	100.0	36.9	11.1
	12 感染症の予防・感染拡大防止に向けた体制が整っている	1,514	7.9	35.6	26.7	12.0	17.8	100.0	43.5	17.8
	13 地域住民による支え合いが行われている 指標【LP-07】	1,512	7.5	37.1	27.2	11.0	17.1	100.0	44.6	17.1
	14 困った時に相談できる人や場所がある	1,511	9.2	33.1	26.0	15.0	16.7	100.0	42.3	16.7
	15 高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるサービスや環境が整っている	1,517	4.9	25.9	29.9	17.9	21.4	100.0	30.8	21.4
	16 障がい者が安心して生活できるサービスや環境が整っている	1,504	3.0	17.4	26.6	17.0	36.1	100.0	20.3	36.1
分野3 市民生活・文化	17 広報、ホームページ、ほくとニュースなどで市の情報がわかりやすく伝えられている	1,520	15.4	46.0	18.5	8.4	11.7	100.0	61.4	11.7
	18 市民の意見や考えを行政に伝えやすい	1,518	3.6	20.5	34.5	19.8	21.6	100.0	24.0	21.6
	19 区、自治会、NPOなどの地域づくり活動が活発に行われている	1,521	4.8	26.5	29.3	13.7	25.6	100.0	31.3	25.6
	20 多様な学習ニーズに対応できる様々な学びの機会がある	1,517	3.9	26.7	30.1	13.1	26.2	100.0	30.6	26.2
	21 スポーツに親しめる環境がある	1,519	8.0	34.1	27.8	11.8	18.3	100.0	42.1	18.3
	22 芸術・文化に親しめる環境がある	1,517	8.6	37.6	28.1	10.9	14.8	100.0	46.2	14.8
	23 地域の伝統や文化の保存・継承が行われている	1,517	8.1	36.2	23.8	9.4	22.5	100.0	44.3	22.5
	24 互いの個性や立場を尊重し合える地域である	1,516	5.2	30.6	25.1	16.1	23.0	100.0	35.8	23.0
	25 性別や国籍などに関わらず、活躍することができる地域である	1,519	5.1	26.3	24.6	12.2	31.7	100.0	31.5	31.7
	26 農地が活用されている	1,518	7.8	28.2	30.9	19.0	14.1	100.0	36.0	14.1
分野4 産業経済・観光	27 知人にすすめたい地元産の農畜産物が多い地域である	1,517	15.3	39.4	23.0	10.8	11.5	100.0	54.6	11.5
	28 森林の整備や保全活動が行われている	1,523	6.2	21.2	32.2	20.7	19.7	100.0	27.4	19.7
	29 国内外の観光客を魅了する地域である	1,517	11.9	41.2	24.5	11.3	11.1	100.0	53.1	11.1
	30 活力のある企業が多い地域である	1,512	3.4	15.2	37.2	24.4	19.7	100.0	18.7	19.7
	31 まちなかに魅力的なお店やサービスがある	1,522	5.1	19.8	35.0	32.3	7.8	100.0	24.9	7.8
	32 働いてみたい魅力的な企業が多い地域である	1,518	1.5	10.5	34.3	30.9	22.9	100.0	12.0	22.9
	33 【就業者のみ】働き方に多様性・柔軟性がある職場である	920	26.3	31.1	18.7	15.0	8.9	100.0	57.4	8.9
分野5 環境・都市基盤	34 災害時の行政の危機管理体制が整っている 指標【LP-18】	1,513	4.3	24.9	29.0	14.1	27.8	100.0	29.1	27.8
	35 各地区において、防災・減災の備えがある	1,513	6.3	27.8	28.2	12.2	25.5	100.0	34.2	25.5
	36 家庭や事業活動において、二酸化炭素(CO2)の排出削減の取組みが積極的に行われている	1,513	3.3	19.8	35.2	17.6	24.1	100.0	23.1	24.1
	37 自然保護や環境保全の取組みが充実している 指標【部門5-3】	1,509	5.3	26.6	30.1	15.9	22.1	100.0	31.9	22.1
	38 山岳を中心とする豊かな自然とその景観が守られている 指標【LP-20】	1,516	12.9	45.3	20.0	11.7	10.2	100.0	58.2	10.2
	39 生活する上で必要な公共交通が確保されている	1,514	3.4	21.3	30.9	36.9	7.5	100.0	24.7	7.5
	40 道路、上下水道など生活インフラが計画的に維持管理されている	1,512	8.9	38.6	23.7	15.0	13.9	100.0	47.4	13.9

「わからない」の割合の全項目の平均→

24.3

(2)市の環境や状況の評価(得点化)

- 市の環境や状況の評価について、端的に比較するため、以下のとおり得点化を行った。

そう思う⇒4点、ややそう思う⇒3点、あまりそう思わない⇒2点、そう思わない⇒1点とし、「わからない」と回答したものを除いた回答者数で除した。

- 評価が最も高いのは「17. 広報、ホームページ、ほくとニュースなどで市の情報～」「33. 働き方に多様性・柔軟性～」 「1. 子どもを産み育てやすい～」である。
- 一方、最も低いのは「32. 働いてみたい魅力的な企業～」であり、次いで「39. 生活する上で必要な公共交通～」、「30. 活力のある企業が多い～」や「31. まちなかに魅力的なお店や～」である。経済活動や公共交通の評価が低い。

■得点

□ : 評価が高い上位3つ □ : 評価が低い上位3つ

分野	設問	得点
分野1 子育て・教育・若者	1 子どもを生み育てやすい地域である	2.70
	2 子育て支援が充実している 指標【LP-01】	2.65
	3 出産支援や乳幼児の保健事業が充実している	2.56
	4 保護者の多様なニーズに応じた保育サービスが提供されている	2.37
	5 小中学校の教育が充実している 指標【LP-02】	2.51
	6 小中学校教育において、児童・生徒に必要な学力・体力を身につけている	2.45
	7 小中学校教育において、夢を持ち未来を切り拓く力が育まれている	2.35
	8 地域住民と学校が連携し、子どもの学びや育ちを支えている	2.49
	9 子育て世代、若者が移住・定住しなくなるような地域である	2.32
	10 健康づくりに取り組みやすい環境が整っている	2.47
分野2 健康・福祉	11 安心できる医療体制が確保されている	2.28
	12 感染症の予防・感染拡大防止に向けた体制が整っている	2.48
	13 地域住民による支え合いが行われている 指標【LP-07】	2.49
	14 困った時に相談できる人や場所がある	2.44
	15 高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるサービスや環境が整っている	2.23
	16 障がい者が安心して生活できるサービスや環境が整っている	2.10
分野3 市民生活・文化	17 広報、ホームページ、ほくとニュースなどで市の情報がわかりやすく伝えられている	2.77
	18 市民の意見や考えを行政に伝えやすい	2.10
	19 区、自治会、NPOなどの地域づくり活動が活発に行われている	2.30
	20 多様な学習ニーズに対応できる様々な学びの機会がある	2.29
	21 スポーツに親しめる環境がある	2.47
	22 芸術・文化に親しめる環境がある	2.52
	23 地域の伝統や文化の保存、継承が行われている	2.56
	24 互いの個性や立場を尊重し合える地域である	2.32
	25 性別や国籍などに関わらず、活躍することができる地域である	2.36
分野4 産業経済・観光	26 農地が活用されている	2.29
	27 知人にすすめたい地元産の農畜産物が多い地域である	2.67
	28 森林の整備や保全活動が行われている	2.16
	29 国内外の観光客を魅了する地域である	2.60
	30 活力のある企業が多い地域である	1.97
	31 まちなかに魅力的なお店やサービスがある	1.97
	32 働いてみたい魅力的な企業が多い地域である	1.77
分野5 環境・都市基盤	33 【就業者のみ】働き方に多様性・柔軟性がある職場である	2.75
	34 災害時の行政の危機管理体制が整っている 指標【LP-18】	2.27
	35 各地区において、防災・減災の備えがある	2.38
	36 家庭や事業活動において、二酸化炭素(CO2)の排出削減の取組みが積極的に行われている	2.12
	37 自然保護や環境保全の取組みが充実している 指標【部門5-3】	2.27
	38 山岳を中心とする豊かな自然とその景観が守られている 指標【LP-20】	2.66
	39 生活する上で必要な公共交通が確保されている	1.90
	40 道路、上下水道など生活インフラが計画的に維持管理されている	2.48
※全項目の平均である2.36点以上の項目が赤色		2.36